

労働時間管理・時間外労働に関する 調査結果



空港グランドハンドリング協会
2024年1月

1. 調査概要



- (1) 目的: ①会員事業者における労働時間管理に関する法令遵守の状況を改めて確認すること
②会員事業者における時間外労働の発生状況と内容の詳細を把握し、労働時間管理も含めた処遇改善等に向け、今後の協会の取組みに活用すること
- (2) 期間: 2023年12月4日(月)～12月19日(火)
- (3) 対象: 空港グランドハンドリング協会会員事業者 (※スイスポートジャパン社を除く)
- (4) 方法: Google フォームによる回答
- (5) 回答: 有効回答社数 = 55社

参考

【空港グランドハンドリング協会 会長メッセージ】

2023年11月29日発信「スイスポートジャパンの報道に関するコメント」一部抜粋

他の会員企業においても労働時間管理等の労働関連法令等に抵触する事象がないか、協会として会員各社の点検を緊急で実施するとともに、適切な労働時間管理や労務管理を行うための研修会を開催するなど、法令遵守の徹底に向けた取組みを実施します。

2. 労働時間管理の実態確認①

Q.改めて社内で労働時間管理の実態などの確認を行ったか。

はい
100%

昨今のグラハン業界を取り巻く状況に鑑み、協会より会員事業者に対して、労働時間管理状況および時間外労働の上限規制等に関する認知状況について緊急自主点検の実施をお願いしていた。

有効回答55社全てにおいて、労働時間管理の実態確認を実施済みの回答を確認した。
(常時または定期的に確認を行っているとの、一部回答も含む)



◆各社における上記実態確認において、時間外労働に関する法令等の遵守状況も確認をお願いした。

時間外労働は
法定/協定
範囲内
100%

時間外労働が発生している場合であっても、
有効回答55社全てにおいて、時間外労働は法定・協定の範囲内であることを確認した。

今後の空ハン協取組み

「労働時間管理に関する法令及び労使関係に関する研修会」を開催し、事業者内の労働時間管理の知識と意識醸成を図る。

2. 労働時間管理の実態確認②

Q.労働時間の実態について、経営層および労働組合等と、定期的に社内で確認・議論を行っているか。

はい
100%

労働時間実態把握と管理について、事業者内で経営者や労働組合等と共有を図り、法令遵守や課題解決に向けて取り組むことができる仕組みとなっているかを確認した。
有効回答55社全てにおいて、経営層・労働組合等と、社内で確認・議論を行っているとの回答を確認した。

今後の空ハン協取組み

「産業別労使懇談会」を通じ、労使間対話の重要性認識と推進を図る。

3. 時間外労働の詳細確認

◆時間外労働の詳細から、必要だと思われる改善策を確認した。

主な発生要因

- ・フライトイレギュラーや貨物搬入引取遅延
- ・スキル不足による責任者 / 中堅者層の負担
- ・付帯業務の実施 など

(=適正な受託量を超えたことが原因ではない)



必要と思われる改善策

- ・便/トラック遅延等が及ぼす影響共有と対策推進
- ・資格共通化等の工夫による教育の加速
- ・求められる付帯業務の必要性見直し
- ・DX推進による省人化/省力化 など

以上

今後の空ハン協取組みに活かすべき事項としていく